

FCEI

(聴覚障害児のための家族を中心とする早期介入)  
の勧め

バイリンガルバイカルチュラルシンポジウム  
2021年7月10日(土)

東京医療センター耳鼻咽喉科科長  
南 修司郎

[Dutch](#)  
[English](#)  
[German](#)  
[Japanese](#)  
[Lithuanian](#)  
[Persian](#)  
[Georgian](#)  
[Russian](#)



ASL (American Sign Language):



# Family-Centered Early Intervention

- 2012年、オーストリアのバードイシュル
- 10カ国から難聴児の保護者、ろう者の専門家、早期介入プログラムの指導者、早期介入専門家、研究者
- まず、全員異議なしと認めた10項目の基本原則を確認
- ついで、原則の明文化、関連プログラムの内容、介入者の責務、介入方法の有効性を取りまとめた



- 私が、**FCEI**を知ったきっかけ
- **FCEI**は、なぜ作らることになったのか
- 日本語訳を担当した経緯
- なぜ、いま**FCEI**を広めたいと思っているのか

原則	日本語	
1	早期に、タイミングよく、公平に、支援につなげる	早期にかつ誰にも開かれたサービス
2	家族と支援チームのバランスのとれた連携	
3	十分な情報提供とそれに基づく家族の選択、意思決定	
4	家族への社会的および精神的サポート	FCEIの実践内容 (何を)と実践方法(どう)を各家庭と行って行くかに焦点
5	家庭内での親と乳幼児の対話	
6	補聴機器や支援機器手法等を用いる	
7	専門性の高い療育者	
8	多職種連携チーム支援	提供者の資質とチームワークの重要性
9	進捗状況のモニタリング	常に発達評価に基づいて実践
10	プログラムのモニタリング	実践



# FCEIが特に大切としているポイント



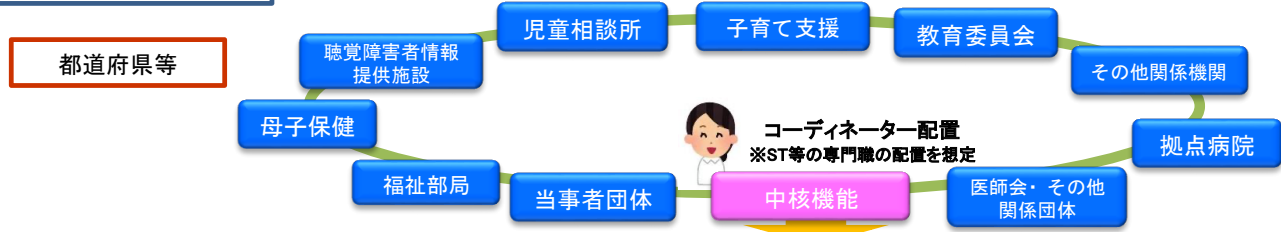
- 親子のやり取りをリラックスして行い、子育てを総合的に楽しむこと
- 家族全員の幸福（子供が楽しんでいること、家族関係が安定していること、精神的な余裕があること、子供の将来について明るい見通しを持っていること）
- 積極的な関与（療育への積極的な参加、情報に基づく選択、意思決定、子供の権利の擁護）
- 自己効力感（子育て・子供の発育の促進に対する自信と能力）

# みんなでFCEIを共有したい！



協議会のイメージ

新生児聴覚スクリーニング、難聴診断



地域の福祉サービス事業所や学校への巡回支援

視覚主導教育

聴覚主導教育

乳幼児期:  
感覚器の  
入力と言語  
を繋げる



“follow the child’s interest”  
（ “子供の興味に沿って” ）

その後、社会ではみんな様々なコミュニケーション！